

P02 クックパッドで「スター」なレシピを作る方法 一つくれぽ数に基づく分析

工藤(原)由佳 (早稲田大学), 原泰史(一橋大学) yasushi.hara@r.hit-u.ac.jp

目的

食の多様化がどのように受容されているのか明らかにする

分析手法

クックパッドデータベースを用い、ユーザーのレシピ再現結果である「つくれぽ」数を、学術論文における被引用数と同様の指標と見做す(*)ことで、優れたレシピの特性について分析する

* 類似の研究としては(Zucker & Darby 1996)のスターサイエンティスト仮説など。また累積のつくれぽ数をレシピ公開年からの経過年数で除することで正規化を行う。

実証結果(1); クロスセクションによるOLSモデル

- ・ レシピの工程数が多いと、正規化されたつくれぽ数も増加する
- ・ レシピ名の長さはつくれぽ数の増加に寄与する
- ・ **利用食材数が多い(≒調達が大変)だと、つくれぽ数は減る**

変数名	(1) 正規化つくれぽ数	(2) 正規化つくれぽ数	(3) 正規化つくれぽ数	(4) 正規化つくれぽ数	(5) 正規化つくれぽ数
レシピの工程数	0.189*** (0.00470)	0.189*** (0.00470)	0.189*** (0.00470)	0.189*** (0.00470)	0.189*** (0.00470)
レシピ名の長さ	0.0112** (0.00461)	0.0105** (0.00465)	0.0112** (0.00461)	0.0113** (0.00461)	0.0113** (0.00461)
利用食材数	-0.136*** (0.00550)	-0.135*** (0.00551)	-0.136*** (0.00550)	-0.136*** (0.00550)	-0.136*** (0.00550)
レシピ名に「簡単」が含まれるか否か		0.0564 (0.0512)			
レシピ名に「時短」が含まれるか否か			-0.0922 (0.458)		
レシピ名に「カロリー」が含まれるか否か				-0.532 (0.608)	
レシピ名に「糖質」が含まれるか否か					-1.008 (0.654)
定数項	-0.769 (5.766)	-0.768 (5.766)	-0.769 (5.766)	-0.770 (5.766)	-0.770 (5.766)
年ダミー	YES	YES	YES	YES	YES
観察数	97,944	97,944	97,944	97,944	97,944
R自乗値	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030

実証結果(2); パネル固定効果モデル

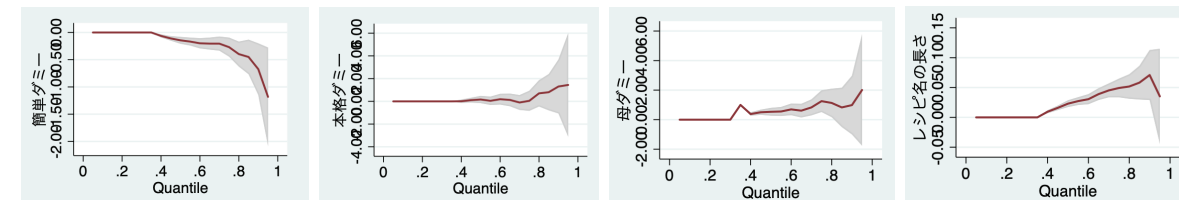
- ・ レシピ投稿ユーザーの特性に着目
 - ・ レシピの投稿数が増えると、つくれぽ数も増加する
 - ・ 平均レシピ工程数が増えると、つくれぽ数も増加する
- **ただし継続して同一IDでレシピを投稿し続けているユーザーは希少**

VARIABLES	(1)	(2)	(3)	(4)
レシピ投稿数	3.739*** (0.0102)	3.741*** (0.0102)	3.742*** (0.0102)	3.742*** (0.0102)
平均の利用食材数		0.0291 (0.0592)		0.000900 (0.0608)
平均のレシピ工程数			0.0638** (0.0309)	0.0637** (0.0317)
Constant	-5.519*** (1.441)	-5.699*** (1.495)	-6.012*** (1.462)	-6.018*** (1.504)
Year Dummy	YES	YES	YES	YES
Observations	66,160	66,150	66,150	66,150
R-squared	0.878	0.878	0.878	0.878
Number of userid	47,428	47,428	47,428	47,428

Standard errors in parentheses
*** p<0.01, ** p<0.05, * p<0.1

実証結果(3); 分位点回帰(Quantile Regression) モデル

- ・ レシピ名に「本格」「母」「時短」などが含まれている場合、大ヒット(つくれぽ数が上位20%)レシピではプラスに寄与する
 - ・ レシピ名に「簡単」「直伝」などが含まれている場合、大ヒットレシピにはマイナスに寄与する
 - ・ レシピ名の長さはヒット作品ほどつくれぽ数にプラスに寄与する
- **『本格もしくは時短、あるいは母親な』味は大ヒットレシピの基本?**



今後の課題

- ・ 新たな食材や調理器具がどのように普及したかのプロセスの分析
- ・ ソーシャルメディアデータとの接合による、需要サイドの分析